

配信資料に関する仕様 No. 11401

～全般週間天気予報、地方週間天気予報、府県週間天気予報～

1. 信頼度情報について

信頼度情報は、雨や雪が降るかどうかの予報の信頼性を、A、B、Cの3ランクで表現したものです。

例えば、信頼度情報がAのときは、降水の有無の予想が適中する確度が高く、かつ次の日に予報の降水有無が日変わりする可能性も低いといえます。信頼度Aのときの予報の降水の有無の適中率は平均で 86%あり、明日予報なみの予報精度があります。翌日に降水の有無の予報が日変わりする確率はおよそ2%です。一方、信頼度がCのときは、降水の有無の予報の適中率が低いことを意味し、例えば、雨が降ると予想していても、翌日発表される週間予報では、雨が降らないという予報に変わる可能性も高くなります。

週間天気予報は、一般的に先の予報ほど予報精度が低くなりますが、信頼度情報を確認することで、一週間先の予報であっても予報の信頼性を加味して利用することができます。

2. 信頼度階級の内容

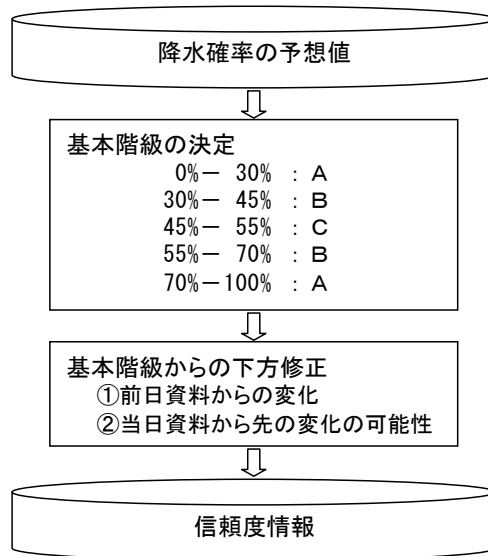
(信頼度情報は、降水の有無の予報についての情報です)

信頼度	内容	検証結果※
A	確度が高い予報 適中率が明日予報並みに高い 降水の有無の予報が翌日に変わる可能性がほとんどない	降水有無の適中率：平均88% 翌日に降水の有無の予報が変わる割合：平均1%
B	確度がやや高い予報 適中率が4日先の予報と同程度 降水の有無の予報が翌日に変わる可能性が低い	降水有無の適中率：平均73% 翌日に降水の有無の予報が変わる割合：平均6%
C	確度がやや低い予報 適中率が信頼度Bよりも低い、もしくは、降水の有無の予報が翌日に変わる可能性が信頼度Bよりも高い	降水有無の適中率：平均58% 翌日に降水の有無の予報が変わる割合：平均16%

※：2014年12月までの5年間のデータによる。

3. 信頼度情報の算出方法

信頼度情報の算出方法の概要図



(1) 基本階級の決定

はじめに、降水確率の予想値にしたがって、図に示した区分で信頼度の基本階級を決定します。（階級の順位は、高い方からA、B、C）

(2) 基本階級からの下方修正

次に、基本階級からの下方修正を、次の項目について行います。

①前日の降水確率の予想値からの変化を考慮した下方修正

決定した基本階級に対し、前日の資料から当日の資料への変化を考慮した処理を行います。具体的には、基本階級が前日より上がった場合（例：B→A）、降水確率の予想値が前日から当日にかけて過度に変わったときは、過去の統計に基づき「予報が日替わりしやすい」と評価し、当日の基本階級から1つ下げる（例ではAを採用せずBに下げる）という修正を行います。

②当日の降水確率の予想値が翌日以降変化する可能性を考慮した下方修正

当日資料として取得した降水確率の予想値が、翌日も同じ値になるとは限りません。前日のシナリオがさらに確度が高くなるという変化もあれば、シナリオが揺らいだり別なものに変わるということもあります。

このような変化の可能性を信頼度情報に加味するため、当日資料の降水確率の予想値について、翌日に降水の有無が変化する可能性を過去の統計（地域、季節、予報対象日（何日先の予報か））から見積もり、基本階級が下がりやすい（例：B→C）と評価した場合は当日の基本階級から下げる（例ではBを採用せずCに下げる）という修正を行います。

以上の処理で得られた結果をもとに発表予報での信頼度情報の階級を決定します。

参考文献：週間天気予報の信頼度情報の改善．平成19年度量的予報研修テキスト，気象庁予報部，41-54.

4. 府県週間天気予報を細分発表する府県予報区と気温予報の対象地点

府県週間天気予報を細分発表する府県予報区と気温予報地点は以下のとおりです。

1) 常に細分している府県予報区

府県予報区名	細分区域名	気温予報地点
東京都	東京地方	東京
	伊豆諸島	八丈島
	小笠原諸島	父島
鹿児島県	鹿児島県（奄美地方除く）	鹿児島
	奄美地方	名瀬

2) 季節を限定して細分している府県予報区等

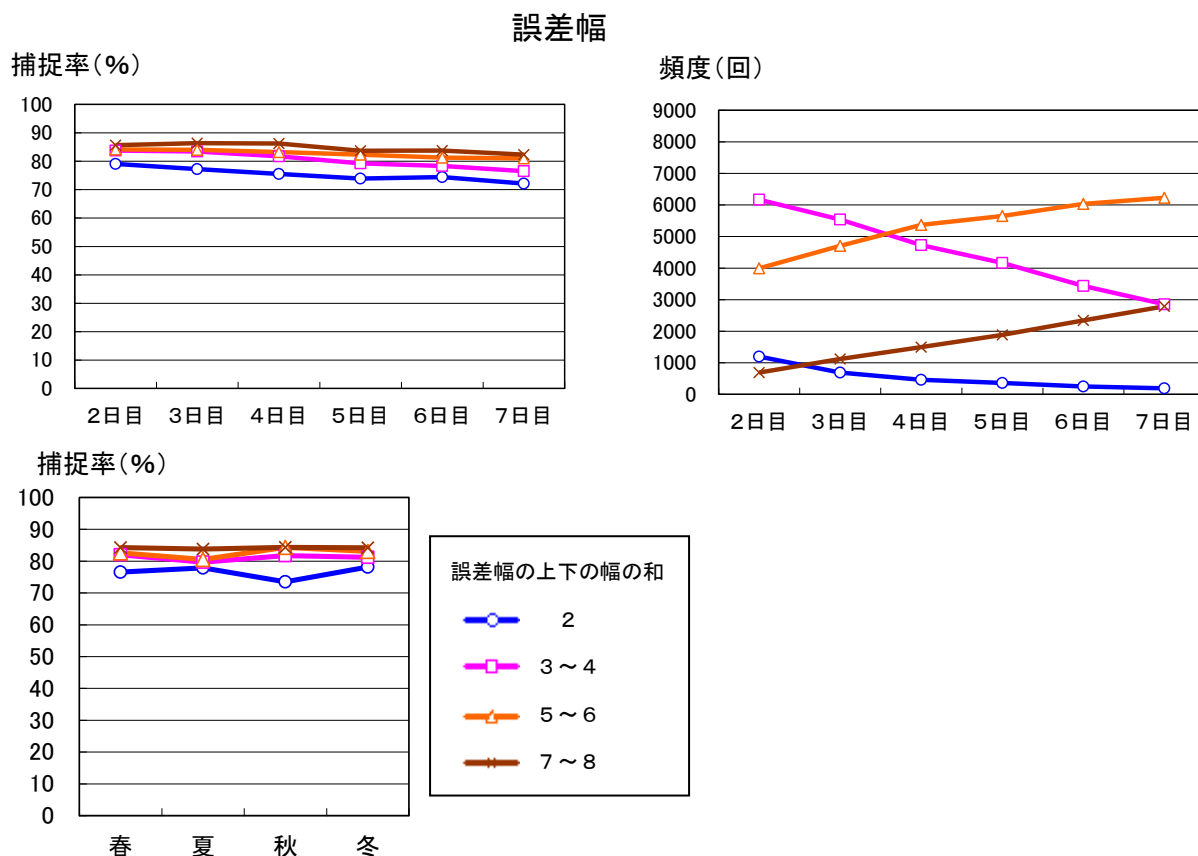
府県予報区名	対象期間	細分区域名	気温予報地点
釧路・根室・十勝地方	暖候期 4月1日～9月30日	釧路・根室地方	釧路
		十勝地方	帯広
宮城県	寒候期 12月1日～3月31日	東部	仙台
		西部	白石※
青森県	寒候期 12月1日～3月31日	津軽・下北	青森
		三八上北	八戸
	暖候期 4月1日～11月30日	津軽	青森
岩手県	寒候期 12月1日～3月31日	下北・三八上北	八戸
		内陸	盛岡
福島県	暖候期・寒候期 (年間を通して)	沿岸	宮古
		中通り・浜通り	福島
東京都／伊豆諸島	寒候期 11月1日～4月10日	会津	若松
		伊豆諸島北部	大島
群馬県	寒候期 11月1日～4月10日	伊豆諸島南部	八丈島
		北部	みなかみ※
長野県	寒候期 11月1日～4月10日	南部	前橋
		北部	長野
岐阜県	寒候期 11月1日～3月31日	中部・南部	松本
		美濃地方	岐阜
兵庫県	寒候期 11月1日～3月31日	飛騨地方	高山
		北部	豊岡
京都府	寒候期 11月1日～3月31日	南部	神戸
		北部	舞鶴
滋賀県	寒候期 11月1日～3月31日	南部	京都
		北部	彦根
広島県	寒候期 11月1日～3月31日	南部	大津※
		北部	庄原※
岡山県	寒候期 11月1日～3月31日	南部	広島
		北部	津山
長崎県	寒候期 11月1日～3月10日	南部	岡山
		壱岐・対馬	厳原
		南部・北部・五島	長崎

(備考) 気温予報地点の※印は地域気象観測所（アメダス）であることを示します。（無印は気象官署又は特別地域気象観測所です。）

5. 気温の誤差幅について

誤差幅の算出方法は、アンサンブル数値予報モデルの気温のばらつきを、過去のモデルの気温予報値と実際の気温との関係をもとに統計的に補正し、実況の気温が予想される気温の幅〔予測範囲の下端（発表気温－下方誤差幅）～予測範囲の上端（発表気温＋上方誤差幅）〕に入る確率がおおよそ80%となるように誤差幅を決定します。

1) 気温の誤差幅の検証結果



	捕捉率(%)	平均誤差幅(度)
全誤差幅	82.0	2.44
誤差幅1度	76.7	
誤差幅2度	81.2	
誤差幅3度	82.5	
誤差幅4度	84.1	

検証要素:最高気温

検証期間:2006年3月～2009年2月

6. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行いません。あらかじめご承知おきください。